

# 厚見小だより

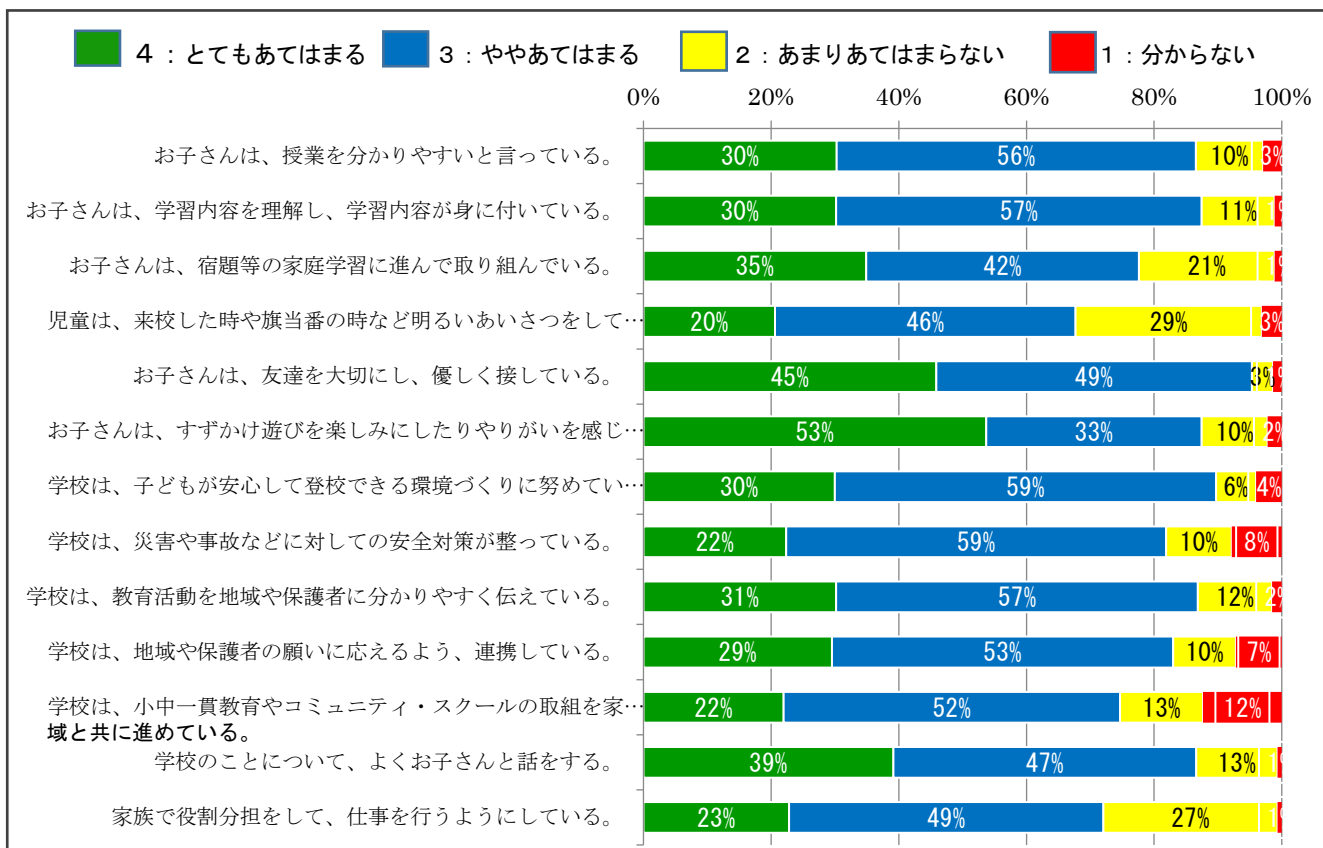
岐阜市立厚見小学校 平成29年2月27日 No.12



## こんなことを改善していきます～「よりよい厚見小学校をめざして」の結果より～

保護者の皆様には、昨年度末の教育活動アンケート（保護者評価）の回答にご協力をいただき、誠にありがとうございました。結果と改善していきたいことをお知らせします。

<「よりよい厚見小学校をめざして」（12月実施保護者アンケート結果）>回答率86%



※学校評価に関わるアンケートは、同じ時期に児童と教職員にも実施しました。

保護者へのアンケート結果は上記のようでした。最も評価が高かったのは、「すずかけ遊びを楽しみにしている」（4：53%）です。児童へのアンケートでも4が61%と全項目中最も高かったです。縦割り集団活動は、それぞれの学年に応じて役割があり、児童の自己肯定感を高める上で効果がある活動です。厚見小児童の素直で子どもらしいよさは、こういった活動もよい効果を生んでいると考えます。「友達を大切にしている」については、4と3を合わせた評価が94%と最も高く、保護者がお子さんのよさを認めていることが分かります。教師の評価でも「児童は友達を大切にしている」の4と3を合わせた評価は75%と高かったです。また、「学校のことについてよく話をする」は、4の評価が保護者39%、児童が42%で、ほぼ同じ意識の差がありませんでした。この項目は、6年生を対象とした全国学力学習状況調査における質問紙においても、県の平均を約5%上回っており、親子のコミュニケーションが図られている家庭が多いと言えます。

授業については、「分かりやすい」が保護者（4：30%、4と3：86%）、児童（4：40%、4と3：88%）となっており、概ねよい状況ではないかと考えます。全国学力学習状況調査においても、「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いか」という質問に対して「その場で先生に尋ねる」と回

答した児童が29パーセントで、これは県の平均を10%以上、上回っていました。このことから、教師と児童がよい関係で、できるだけ授業中に分からないことを解決しようとする姿勢があると言えます。

反対に、最も評価が低いのは、「明るいあいさつをする」(4:20%)です。保護者の意見でもあいさつができないことに対する記述が多くありました。教師の評価は4が4%、児童の4は32%でした。

#### <保護者・児童・教師の評価で違いが大きかった項目>

	4とする保護者の割合	4とする児童の割合	4とする教師の割合
明るいあいさつをする	20%	32%	4%
黙って掃除をする	項目に入っていない	24%	7%

このことから、「児童は自分では明るいあいさつをしているつもりであるが、相手に伝わっていない」ということが言えます。あいさつは、厚見中学校とも連携し毎月「厚見あいさつの日」も設定して取り組んでいます。十分な成果が得られていないことから、指導の方法をもっと工夫していく必要があります。

また、安全対策への評価も4が22%と低かったです。保護者の意見でも引取り訓練の方法の改善を求める記述が多くありました。

#### 【おもな意見（保護者アンケートより）】

- 全体的な印象として、素直で明るく、健全な子どもたちが多い。
- 子どもらしくよく遊び、高学年ともなるとあいさつをしている姿が素晴らしいと思います。
- 旗当番の時、元気にあいさつしてくれる児童が多いです。高学年が下級生の手本となるよう、恥ずかしがらずにあいさつできるよう、家庭、学校で話し合い、実践していきたいです。
- 旗当番をしていると、元気にあいさつしてくれる子が多いので素晴らしいと思います。あいさつ運動などで身に付いているのか、中学生もしっかりあいさつできるので、とてもよい事だと思います。
- 学力面で、担任の先生がとても明るく、分かりやすい授業をしてくださって、とても授業が楽しいと挙手も増えたと感じます。
- 担任の先生が、とてもよく子どもの個性を理解してくださって、やる気を引き出すよう日頃から力を注いでくださり、長所を見つけて伸ばそうとする先生の姿勢に本当に感謝しています。
- 毎日登校してすれ違った児童にあいさつをするが、返ってこない子が半分。もう少しあいさつのできる子の姿がみたいなと思っています。
- 我が子も含め、朝旗当番に立ち、あいさつの声をかけていくのですが、半数返ってこればよいくらいです。自分からが難しいのであれば、せめて声をかけられたら返していける子になってほしいです。
- うちの子を含め、朝の旗当番であいさつを返してくれる子が年々少なくなってきていると思います。あいさつがきちんとできる子になってほしいです。
- あいさつのできる子とできない子がいる。旗当番の時など、こちらがあいさつしても返ってこない時が本当に多くて驚きました。学年が上がるにつれ、しない子が多いと思います。低学年の手本になってほしいのに残念です。
- 小中一貫教育の取組があまり実感できない。従来までと何が違うのかよく分からない。
- ◇災害時の引き取りですが、厚見通りの混み具合が大変でした。JR緑門より進入、黄門または青門より退出ではどうでしょうか。

#### 【改善に向けて】

今年度と同様、「聞く・話す」「あいさつ」「掃除」を重点とする中で、特に「あいさつ」と「掃除」に力を入れ、全職員で指導していきたいと思えます。

#### <あいさつについて>

- ・児童会の常時活動をして、年間を通してあいさつを推進する活動を行っていく。
- ・コミュニティ・スクールの組織を生かし、地域と連携してあいさつの推進を図る。

#### <掃除について>

- ・美化委員会が中心となって「だまってそうじ」の取組を全校で行っていく。
- ・中学校の掃除の様子をVTRで放映するなど、小中一貫の取組の中で児童への啓発を図る。

#### <その他>

- ・引取りの方法を見直す。
- ・小中一貫教育やコミュニティ・スクールの取組を学校だより等でもっと周知していく。

項目の評価以外にもたくさんのご意見をいただきました。貴重な意見として受け止め、今後の指導に生かしていきたいです。ご協力をありがとうございました。